



## OB会 新春ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

執行役員 大阪工場長

昨年はOB会の皆様に多大なご支援をいただき、改めまして御礼申し上げます。  
本年も何卒ご健勝で、変わらぬご支援ならびに現役社員への叱咤激励を頂けますよう、宜しく願い申し上げます。大阪工場も昨年から創立70周年を迎え、今年も無事に新しい年を迎えることができたことを大変喜ばしく思っております。  
年頭にあたり、ご挨拶を申し上げます。



谷川 徳彦

昨年も、コロナウイルスの感染拡大により、コマツの生産活動に大きな影響を受けた1年でした。秋ごろには一旦状況も落ち着き、人数制限はありましたが、3年ぶりに地域住民の方にも参加していただいた事業所フェアも開催できました。年末からの第8波の到来により、現在も感染が拡大しており、いまだ少なからず生産も影響を受けている状況です。皆様におかれましても、引き続き、安全・健康にご留意してお過ごしいただきたいと思っております。

まず、安全についてですが、大阪工場だけでなく、コマツ全体で災害件数が増えており、非常事態宣言のもと特別安全活動を推進している最中ではありますが、まだ、収まらない状況です。「自分の身を守る、仲間からけがを出さない」を宣言して、自分だけでなく、数多くいる経験の浅い社員の方々も含めた全員参加で、気配りな作業や、状態、姿勢を撲滅し、ハード対策を先取りして災害の発生しない作業環境作りを地道に推進しています。

コマツの状況ですが、2022年度の上期は、史上最高の売り上げ、利益を達成いたしました。これもひとえにOB世代の皆様が築いてきた土台があり、それに加えて現役世代が頑張っ達成できたと思っています。2023年も引き続き、インフレーションによる資源価格の高止まりにより、マイニング市場は好調だと予測していますが、一方で世界的な金利の上昇も続いており、先行きは非常に不透明な状況です。我々コマツを取り巻く環境は刻一刻と変化していきますので、変化に応じて、フレキシブルに対応できる体制を築き、結果に慢心せず、サステナブルに成長していきたいと思えます。

最後に工場再編についてです。OTC、生開セ、匠の杜、試験センタ、食堂は直近10年で再整備を進めてまいりましたが、未だ残っているのが生産工場です。築80年を経過した工場は老朽化が著しく、早急に更新したいと考えています。ダントツの生産性・競争力を備えたC/N（環境）・DX（IoT・自動化）や顧客現場とのつながる化等を達成した次世代工場を目指しています。

今年は建5工場西、建4工場の解体、デモエリアの新設、新板金工場の建設を進めていきます。さすがコマツと言われる工場を社員一丸となって作りあげていきたいと思っておりますので、お時間があれば、大阪工場に来工していただき、状況など確認していただければと思っています。

末筆になりましたが、皆様とご家族のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶に代えさせていただきます。